

とちぎの里づくり シンポジウム

栃木県の県土面積の約 5 割を占めると言われている中山間地域。豊かな自然や美しい農村景観が広がる一方、こうした地域では人口の減少や高齢化の進展により、地域活動を支える担い手が不足しています。魅力ある地域として中山間地域が持続的に発展していくためには、どのような人材が求められているのでしょうか。

日時 平成 27 年 10 月 17 日 (土)
13:00~16:00

会場 宇都宮大学峰キャンパス
5B11 教室 (宇都宮市峰町 350)

参加費 無料
定員 50 名

ご挨拶

宇都宮大学准教授 高橋 俊守 氏

★第 1 部：基調講演 13:00~14:30

虹色の世界と灰色の世界

～里づくりに求められる人材と中山間地域の可能性を考える～

日本 EIMY 研究所 所長・教授/東北大学名誉教授 新妻 弘明 氏

【講師プロフィール】

昭和 50 年東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻修了。電気・電子計測、地下計測、環境計測、地熱エネルギー利用技術、再生可能エネルギーに関する研究に従事。エネルギーの地産地消である EIMY (Energy In My Yard) の概念を 2002 年に提唱し、その実現のための実践的研究を、岩手県、宮城県、福島県、長野県などで行っている。

★第 2 部：パネルディスカッション 14:40~16:00

株式会社ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長 松本 謙 氏
有限会社花農場あわの代表取締役 若林 ふみ子 氏
とちぎ市民協働研究会代表 石井 大一郎 氏
コーディネーター：宇都宮大学特任准教授 若園 雄志郎 氏

☆申込不要☆ 問合せ先：宇都宮大学地域連携教育研究センター TEL. 028-649-5144